



## 第3章 野火止用水の本質的価値

### 1 史跡野火止用水の本質的価値

野火止用水は、承応4年（1655）に松平伊豆守信綱によって、新田開発のために開削された水路で、開拓農民の「命の水」として利用され、開拓を成功に導く主因となった。さらに、時代の変化とともに、水車の動力としても利用され、商品作物の生産や工業化を支えた。上水道の整備後は、市内でも農業用水として使われた時期もある。このように、住民の生活に密着して存在した史跡野火止用水の本質的価値を、以下のように整理した。

#### (1) 現存する近世前期の水路

野火止台地の地形をいかした開削当時の流路が現存しており、場所に応じて堀の深さを変え、窪地状の土地では築堤上に水路を設けることで、淀みなく水を流している。高度経済成長期に水路の多くが廃絶・暗渠化されたものの、野火止用水は江戸時代前期の測量・土木技術の高さを示している。

#### (2) 生活・生業を支えた施設

野火止用水には、水汲み場、ドンドン、呼び井戸といった水を得るための施設が設けられ、周辺住民の飲用水として利用された。戦後、上水道の普及後は、収穫した農作物の洗い場として利用された時期もある。

江戸時代後期には、野火止用水に水車が掛けられ、脱穀・製粉等によって生まれた商品作物が、大量に江戸に供給された。水車は近代以降も重要な動力源となり、製紙・伸銅等の工業化も支えている。

このように、各時代の生活・生業の基礎となったのが野火止用水である。

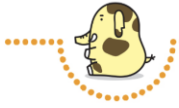
## 2 野火止用水が地域形成に果たした役割

野火止用水がもたらした水は、野火止新田の開拓を成功に導いたが、その影響は現在の史跡指定範囲や水路跡よりも遥かに広い範囲に及んでいる。これらを野火止用水が地域形成に果たした役割として評価し、以下にまとめた。

#### (1) 新田開発の歴史的な景観

野火止新田の開発では、道沿いに開拓民の屋敷を並べ、その奥に屋敷と同じ幅で畑・雑木林を細長く配するという短冊形地割が敷かれたが、野火止用水は主に道沿いに配されることで、飲用水が開拓民にあまねく供給された。関東ローム由来の赤土で畑作を行うため、雑木林の落葉を堆肥にする農法が採られ、野火止新田の生産力向上が川越領内及び大消費地・江戸の食料を支えた。

このような市内の生業を支えたのが野火止用水であり、用水の使用が許されていた市域の



用水沿いには、短冊形地割等の歴史的な景観が残されている。市外上流域では、用水が使用できず、市外下流域では灌漑用水として利用されたため、同じ用水沿いでも短冊形地割は形成されていない。

## (2) 野火止用水と信仰

野火止用水の開削は、分水元である玉川上水の開削時点で企画されていたと考えられ、松平信綱は菩提寺である平林寺を、開拓後の野火止に移転することを志し、その願いは死後に実現する。野火止用水の平林寺堀は、寺の生活に用いられるとともに、信綱の眠る大河内松平家廟所の前を流れている。高崎藩に転封されていた信綱の子孫は、祖先の開拓地と菩提寺があることで野火止新田を飛び地として取り戻し、陣屋を置いて幕末まで支配した。

日常的に利用された用水は、地域の人々に信仰を芽生えさせ、用水沿いには神社や様々な石造物が置かれた。また、喝水時には雨乞いも行われ、民俗信仰の場となっていた。

## (3) 台地中央部に現れた水辺環境

野火止台地は高燥な土地であるため、本来、水辺空間は存在しない。しかし、野火止用水が開削されたことで、多様な動植物が生息できるようになり、池泉回遊式の平林寺林泉境内もその一部と捉えることができる。また、現代の都市住民においては、生業との結びつきは弱くなった反面、多様な動植物に触れられる水と緑の憩いの場として、野火止用水が再評価されている。

# 3 構成要素の特定

## (1) 史跡を構成する諸要素

史跡野火止用水の構成要素を特定し、それらと本質的価値の関係について以下のとおり分類して整理する。

### ア 本質的価値を構成する諸要素

野火止用水の史跡指定範囲内の構成要素について、本質的価値を有する要素を整理した。

### イ 本質的価値を構成する諸要素以外の諸要素

史跡指定範囲内の構成要素について、本質的価値を取り巻く環境を形成している要素を整理した。

### ウ 史跡指定範囲外及び周辺地域を構成する諸要素

史跡指定範囲外及び周辺地域を構成する要素について整理した。

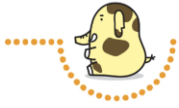
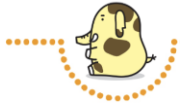


表5：史跡野火止用水の構成要素

分類		内容		構成要素	
史跡指定範囲内	本質的価値を構成する諸要素	現存する近世前期の水路	立地環境	野火止台地	
			水を流すために設けられた施設	堀 土あげ敷 築堤 伏せ越し 分水口水門	
		生活・生業を支えた施設	水を利用するために、用水に設けられた施設	水汲み場 水車跡 洗い場	
	本質的価値を構成する諸要素以外の諸要素	用水を維持する施設	水流を維持するために必要な施設等	水 水路橋 護岸施設 浮遊ゴミ回収施設 ポンプ	
		用水を活用する施設	周知・啓発に必要な施設	史跡公園 説明板・案内板 歩道 柵・フェンス 休憩施設等	
		歴史的環境	信仰に関わる要素	石造物	
		自然的環境	用水沿いの樹木や草本等の要素	植栽（樹木・灌木・草本類）	
		その他	保存活用のために必要な建築物、工作物、道路、地下埋設物等	車道 橋 交通安全施設 バス停 工作物（電柱、配管、人孔等） ゴミ集積所 境界杭	
	史跡指定範囲外及び周辺地域	今後保護を要する範囲	史跡の歴史的環境を補完する要素	かつて用水が流れていた場所に残る明確な痕跡	築堤 堀跡
			その他	築堤・堀跡の現況	植物 説明板 境界杭
		かつての用水跡	史跡の歴史的環境を補完する要素	用水が流れていた場所に残る痕跡と、その周辺にある諸要素	堀跡 水車跡 石造物
			保存活用のために必要な施設	用水が埋め戻され、別の用途で利用されている場所	車道・歩道 民地等
その他			工作物、地下埋設物等	案内板 交通安全施設 工作物（電柱、配管等） 境界杭	



分類		内容	構成要素
歴史的な景観	野火止用水が地域形成に果たした役割	野火止新田の開拓によって生まれた歴史的な景観の諸要素	短冊形地割（屋敷地・屋敷林・畑・雑木林） 神社・寺院・石造物等
	保存活用のために必要な施設	用水沿いの散策に必要な施設	公共施設等 公園・休憩施設等 歩道
	その他	植物類、動物類、建築物、工作物、地中埋設管等	

## (2) 史跡を構成する諸要素の概要

史跡・野火止用水を構成する諸要素は、次表のとおりである。

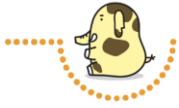







表6：本質的価値を構成する諸要素

構成要素の概要				
現存する近世前期の水路	立地環境	野火止台地 黒目川と入間川に挟まれた広範な台地 近世に育まれた武蔵野の原風景		野火止台地を流れる野火止用水と雑木林
	水を流すために設けられた施設	堀・堀（遺構） 土あげ敷 築堤 伏せ越し 分水口水門	 	現存する野火止用水  西堀分岐点
生活・生業を支えた施設	水を利用するために用水に設けられた施設	水汲み場 水車跡 洗い場	 	野火止用水に残る水車の堰跡  清流対策事業で整備された洗い場

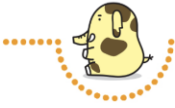








表7：本質的価値を構成する諸要素以外の諸要素

構成要素の概要				
用水を維持する施設	水流を維持するために必要な施設等	水 水路橋 護岸施設 浮遊ゴミ回収施設 ポンプ		関越自動車道を跨ぐ野火止用水の水路橋
				野火止用水護岸施設（木杭）
				野火止用水護岸施設（擬木コンクリート）
用水を活用する施設	周知・啓発に必要な施設	史跡公園 説明板・案内板 歩道 柵・フェンス 休憩施設等		史跡公園
				四阿とベンチ
				史跡説明板



構成要素の概要				
歴史的環境	信仰に関わる要素	石造物	 <p>本流沿いの庚申碑 (馬喰橋通りとの交差点付近)</p>  <p>伊豆殿橋脇の供養塔</p>	
自然的環境	用水沿いの樹木や草木等の要素	植栽(樹木・灌木・草本類)	 <p>用水沿いのツツジと遊歩道</p>	
その他	保存活用のために必要な建築物、工作物、道路、地下埋設物等	車道 橋 交通安全施設 バス停 工作物(電柱、配管、人孔等) ゴミ集積所 境界杭	 <p>水路に架かる木造橋とベンチ・バス停</p>  <p>車止め</p>  <p>魚保護の看板</p>	

表8：史跡指定地外及び周辺地域



構成要素の概要					
今後保護を要する範囲	史跡の歴史的環境を補完する要素	かつて用水が流れていた場所に残る明確な痕跡	築堤 堀跡		陣屋堀築堤
	その他	築堤・堀跡の現況	植物 説明板 境界杭		陣屋堀説明板
かつての用水跡	史跡の歴史的環境を補完する要素	用水が流れていた場所に残る痕跡と、その周辺にある諸要素	堀跡 水車跡 石造物	  	八雲神社 (旧川越街道と本流の交差点部)  水神塔 (菅沢地区)
	保存活用のために必要な施設	用水が埋め戻され、別の用途で利用されている場所	車道・歩道 民地等		水道道路 (陣屋堀跡)





構成要素の概要				
	その他	工作物、地下埋設物等	案内板 交通安全施設 工作物（電柱、配管等） 境界杭	 <p>陣屋堀築堤 付近の道路</p>
歴史的な景観	野火止用水の本質的役割	野火止新田の開拓によって生まれた歴史的な景観の諸要素	短冊形地割（屋敷地・屋敷林・畑・雑木林） 神社・寺院・石造物等	 <p>短冊形地割が残る新座市域</p>
	保存活用のために必要な施設	用水沿いの散策に必要な施設	公共施設等 公園・休憩施設等 歩道	 <p>JR 新座駅と 史跡をつなぐ 遊歩道</p>
	その他	植物類、動物類、建築物、工作物、地中埋設管等		 <p>用水に飛来した シロサギ</p>